



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 エスペック株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6859 URL <https://www.espec.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 荒田 知  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 大島 敬二 TEL 06-6358-4741  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	13,691	11.5	922	16.8	1,114	17.6	756	33.8
2024年3月期第1四半期	12,275	40.7	789	—	947	749.7	565	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,915百万円 (7.1%) 2024年3月期第1四半期 1,789百万円 (103.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	34.65	—
2024年3月期第1四半期	25.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	72,850	53,521	73.5	2,451.49
2024年3月期	78,235	52,715	67.4	2,414.58

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 53,521百万円 2024年3月期 52,715百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	50.00	75.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	35.00	—	45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	30,500	11.9	2,900	24.3	3,050	20.7	2,200	33.0	100.77
通期	65,000	4.6	7,000	6.3	7,200	4.0	5,200	4.6	238.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.9「会計方針の変更に関する注記」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期1Q	23,781,394株	2024年3月期	23,781,394株
2025年3月期1Q	1,949,085株	2024年3月期	1,949,085株
2025年3月期1Q	21,832,309株	2024年3月期1Q	21,832,414株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(会計方針の変更に関する注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの事業環境につきましては、引き続き社会のデジタル化や脱炭素化を背景にエレクトロニクス及び自動車関連の投資が堅調に推移いたしました。生産面におきましては、受注残高の消化および生産負荷の平準化に向けて、要員の増加、生産スペースの拡大、外注の活用により国内の生産能力増強に取り組みました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同四半期比で受注高は9.3%増加し16,988百万円となり、売上高は11.5%増加し、13,691百万円となりました。利益面につきましては、販管費が増加いたしましたが、主に増収により営業利益は前年同四半期比で16.8%増加し、922百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比で33.8%増加し、756百万円となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (2024年3月期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (2025年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	15,539	16,988	9.3
売上高	12,275	13,691	11.5
営業利益	789	922	16.8
経常利益	947	1,114	17.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	565	756	33.8

セグメント別の業績

当第1四半期連結累計期間のセグメント別業績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益又は営業損失 (△) (百万円)
装置事業	14,510	11,827	810
サービス事業	2,186	1,767	147
その他事業	421	207	△34
連結消去	△130	△112	△1
計	16,988	13,691	922

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では、汎用性の高い標準製品は前年同四半期比で受注高・売上高ともに増加いたしました。カスタム製品につきましては、受注高は減少いたしました。売上高は大幅に増加いたしました。海外市場におきましては、受注高は主に欧州や北米において増加いたしました。売上高につきましては北米、台湾、東南アジアは増加したものの、中国、欧州は減少し、前年同四半期並みとなりました。

エナジーデバイス装置につきましては、受注高は主に国内において大型案件のあった前年同四半期比で減少いたしました。売上高は前期の生産体制整備の効果により大幅に増加いたしました。

半導体関連装置につきましては、主にメモリ関連の投資抑制の影響を受け、受注高・売上高ともに前年同四半期比で大幅に減少いたしました。

こうした結果、装置事業全体では、前年同四半期比で受注高は8.9%増加し14,510百万円、売上高は11.8%増加し11,827百万円となりました。利益面につきましては、販管費の増加により営業利益は前年同四半期並みの810百万円となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (2024年3月期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (2025年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	13,325	14,510	8.9
売上高	10,580	11,827	11.8
営業利益	803	810	1.0

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、予防保全サービス・修理サービスともに堅調に推移し、前年同四半期比で受注高・売上高ともに増加いたしました。

受託試験・レンタルにつきましては、車載用バッテリーを中心に受託試験が好調に推移し、前年同四半期比で受注高・売上高ともに増加いたしました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期比で受注高は14.2%増加し2,186百万円、売上高は11.0%増加し1,767百万円となりました。利益面につきましては、主に受託試験の増収および原価率の改善により、営業利益は前年同四半期比で284.6%増加し147百万円となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (2024年3月期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (2025年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	1,914	2,186	14.2
売上高	1,592	1,767	11.0
営業利益	38	147	284.6

<その他事業>

環境保全事業及び植物育成装置事業を中心とするその他事業では、水辺づくりを中心に環境保全事業が堅調に推移いたしました。こうした結果、前年同四半期比で受注高は2.6%増加し421百万円、売上高は4.2%増加し207百万円となりました。利益面につきましては34百万円の営業損失となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (2024年3月期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (2025年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	411	421	2.6
売上高	199	207	4.2
営業損失(△)	△48	△34	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの経営成績には著しい季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は72,850百万円で、前連結会計年度末と比べ5,385百万円の減少となりました。その主な要因は、前連結会計年度末に計上された売上債権（受取手形、売掛金及び契約資産並びに電子記録債権）の回収による減少3,750百万円、短期借入金の返済等に伴う現金及び預金の減少2,593百万円、受注残高の増加による仕掛品等の棚卸資産の増加1,038百万円などによるものであります。また、負債は19,328百万円で前連結会計年度末と比べ6,191百万円の減少となり、その主な要因は、短期借入金の減少3,993百万円、仕入債務（支払手形及び買掛金並びに電子記録債務）の減少1,900百万円、未払法人税等の減少544百万円、賞与引当金の増加194百万円などによるものであります。純資産は53,521百万円で前連結会計年度末と比べ805百万円の増加となりました。主な要因は、為替換算調整勘定の増加1,089百万円、当第1四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益が756百万円計上された一方、配当金として1,103百万円が剰余金処分されたこと等による利益剰余金の減少353百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、現時点において業績計画を修正すべき状況が発現していないことから、当初の業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,494	13,900
受取手形、売掛金及び契約資産	16,471	12,847
電子記録債権	5,367	5,240
有価証券	302	302
商品及び製品	3,226	3,183
仕掛品	4,284	5,168
原材料及び貯蔵品	5,881	6,078
その他	2,711	2,385
貸倒引当金	△63	△44
流動資産合計	54,674	49,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,222	5,288
土地	5,226	5,252
その他（純額）	3,678	3,744
有形固定資産合計	14,126	14,285
無形固定資産		
のれん	1,621	1,568
その他	637	646
無形固定資産合計	2,259	2,214
投資その他の資産	7,174	7,288
固定資産合計	23,560	23,788
資産合計	78,235	72,850
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,523	4,125
電子記録債務	4,443	2,941
短期借入金	5,102	1,109
未払法人税等	1,053	509
賞与引当金	621	815
役員賞与引当金	14	—
製品保証引当金	270	247
受注損失引当金	5	4
その他	6,412	6,344
流動負債合計	22,447	16,097
固定負債		
長期借入金	128	109
退職給付に係る負債	264	267
役員株式給付引当金	218	237
役員退職慰労引当金	2	2
資産除去債務	24	24
その他	2,433	2,589
固定負債合計	3,072	3,230
負債合計	25,519	19,328

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,053	7,053
利益剰余金	37,091	36,738
自己株式	△3,318	△3,318
株主資本合計	47,722	47,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,110	2,186
土地再評価差額金	△663	△663
為替換算調整勘定	3,434	4,523
退職給付に係る調整累計額	111	105
その他の包括利益累計額合計	4,993	6,152
純資産合計	52,715	53,521
負債純資産合計	78,235	72,850



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	12,275	13,691
売上原価	8,042	8,890
売上総利益	4,232	4,800
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,048	1,192
賞与引当金繰入額	85	90
役員株式給付引当金繰入額	20	16
製品保証引当金繰入額	34	11
貸倒引当金繰入額	1	—
のれん償却額	31	63
その他	2,221	2,503
販売費及び一般管理費合計	3,443	3,878
営業利益	789	922
営業外収益		
受取利息	6	13
受取配当金	49	87
為替差益	87	72
その他	23	30
営業外収益合計	168	204
営業外費用		
支払利息	6	7
支払手数料	1	2
その他	1	3
営業外費用合計	10	12
経常利益	947	1,114
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	106
特別利益合計	—	107
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	4	1
特別損失合計	4	1
税金等調整前四半期純利益	942	1,221
法人税、住民税及び事業税	385	464
四半期純利益	557	756
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	565	756

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	557	756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	418	75
為替換算調整勘定	813	1,089
退職給付に係る調整額	0	△5
その他の包括利益合計	1,232	1,159
四半期包括利益	1,789	1,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,797	1,915
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,556	1,522	196	12,275	—	12,275
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	70	3	96	△96	—
計	10,580	1,592	199	12,372	△96	12,275
セグメント利益又は損失(△)	803	38	△48	792	△3	789

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	11,801	1,691	198	13,691	—	13,691
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	76	9	112	△112	—
計	11,827	1,767	207	13,803	△112	13,691
セグメント利益又は損失(△)	810	147	△34	923	△1	922

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	362百万円	440百万円
のれんの償却額	31	63